

## 京舞 (Web テキスト)

最も有名な京都の伝統の守護者の一部が、芸妓（他の地域では芸者と呼ばれている）と、芸妓の練習生である舞妓です。芸妓は、舞や歌、音楽、そして遊びでお客様を楽しませる女性の舞台芸術家です。彼女たちが実践している芸術の 1 つが、優雅な京舞という舞です。

### 続きを読む

この公演では、京舞は通常、京都の五つの伝統的な歓楽街（そこで芸妓と舞妓が働いている）の一つである祇園甲部の舞妓によって披露されます。祇園甲部では、芸妓と舞妓は、能の意図的で象徴的な動きと、宮廷で好まれた繊細で洗練された舞踊の影響を受けた井上流の京舞を稽古しています。京舞井上流は、18 世紀に、座敷（茶屋やその他の会場場所にある比較的小さな畳敷きの客間で、お客様が飲食や、歌と舞を楽しむことができる）で上演されるように作られました。

この公演では、二つの舞が京舞井上流のスタイルで披露されます。舞の一つは季節ごとに変わるもの、もう一つは人気の定番で祇園小唄（祇園の歌）と呼ばれる舞です。